

小野御柱

信濃国 二之宮

5月3日
～5日
里曳老

綺羅を見るなら...

「小野御柱」と総称される矢彦神社(辰野町小野)と小野神社(塩尻市北小野)の両御柱祭の予行として、里曳老が5月3日から5日の3日間行われます。7年ごとに一度開く小野御柱。昔から「綺羅(きら)を見るなら小野御柱」の伝統があり、その綺羅は氏子の法被に現れ、華やかさは有名です。スケジュールは諏訪大社御柱祭ほど大きくありませんが、地区内から切り出される4本の三つと4本のアカツの木が矢彦、小野両神社に曳かれ、建て

られる姿は一見の価値があります。今回の里曳老は、東日本大震災の犠牲者を悼み、曳行直前に黙とうをささげます。また当初予定していた自衛隊音楽隊の演奏と塩尻市内の長持連の巡行は中止しました。3日は「二二三」の御柱が午前8時に曳行開始、仮安置所に安置。4日は午前8時曳行を

開始、神社到着後、午後1時から御柱大祭。5日は午前8時から4本の建て御柱を行います。前区氏子有志が奉納する懸飛躍(たのめりおど)り太鼓の演奏があり、御柱祭を盛り上げます。

小野神社は3日間

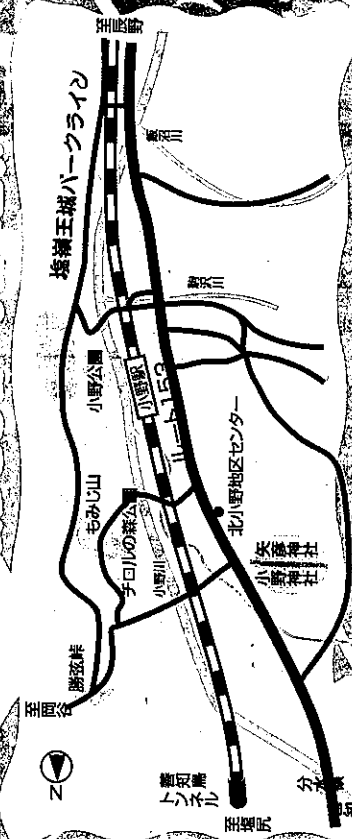
建て御柱は3日間行います。初日は二二三の御柱、4日は三の御柱、5日は四の御柱。曳行開始は各御柱とも午前8時。このほか、おこなわれる優雅な浦安の舞、若連衆の法被姿長持など、踊りながら奉納もあります。矢彦神社では名物の「雲助長持」の山車が見ものです。小野神社は古町区保存会の懸飛行列、宮

矢彦神社 5日に建て御柱

3日は「二二三」の御柱が午前8時に曳行開始、仮安置所に安置。4日は午前8時曳行を



小野神社の建て御柱



臨時列車 シヤトルが利用を

JR東日本は期間中、辰野～塩尻間で1日3本の臨時列車を運行します。辰野発1時34分、14時18分、16時16分。塩尻発9時56分、12時45分、15時。また塩尻市にあるチロルの森駐車場からシヤトルが運行されます。

辰野町雨沢の若者らによる名物「雲助長持」の作成、キヤンペーションの制作、観光案内所の運営、GPS(衛星利用測位システム)機能で御柱の位置を確認できる情報システムを導入。観光客へのカーヒスを提供します。問い合わせは「小野御柱祭観光推進協議会」(46-20220)、「辰野町観光協会」(41-1111)。

スケジュール	矢彦神社	小野神社
5月3日(火)	1, 2, 3, 4, の柱、午前8時より曳行開始、仮安置所に安置	1, 2, の柱、午前8時より曳行開始、神社到着後、建御柱祭
5月4日(水)	1, 2, 3, 4, の柱、午前8時より曳行開始、神社到着後、午後同時建御柱大祭	3, の柱、午前8時より曳行開始、神社到着後、建御柱祭
5月5日(木)	1, 2, 3, 4, の柱、午前8時より建御柱祭	4, の柱、午前8時より曳行開始、神社到着後、建御柱祭

※時間に関しては、若干の変更があります。